

学びの成果を披露

公民館まつり、生涯学習祭

八日市場公民館で2月2日・3日に第14回公民館まつりが、また、野栄総合支所では同月17日に第8回生涯学習祭が行われました。

八日市場公民館、生涯学習センターを利用して文化活動などに取り組む団体や各種講座の受講生が、日ごろの成果を披露する両行事。ダンスや歌謡、楽器演奏などの芸能発表、書道や絵画などさまざまな創作物の展示の他、茶道や七宝焼、フラワーアレンジメントの体験企画も行われ、両会場とも大きな盛り上がりを見せました。



コーラスの発表(生涯学習祭)



茶道の体験(公民館まつり)



作品展示に注目が集まる(公民館まつり)



和紙人形の作成体験(生涯学習祭)

優勝した八日市場小の男子チーム(上)と女子チーム



八日市場小がダブル優勝

匝瑳ミニバスケットボール大会

匝瑳市長杯匝瑳ミニバスケットボール大会の決勝が、1月26日に八日市場ドームで行われ、男子と女子の両部門で八日市場小学校が優勝しました。

この日は、14日に行われた予選リーグから勝ち上がった男女各8チームによるトーナメント戦を実施。チームメイトや保護者から大きな声援が送られる中、熱戦が繰り広げられました。上位の結果は、次の通りです。

《上位結果》▽男子 優勝…八日市場小 準優勝…平和小 3位…常磐小(多古町) ▽女子 優勝…八日市場小 準優勝…多古第一小(多古町) 3位…常磐小(同)

匝高美術部に感謝状

ふれあいパークに壁画ペイント

匝瑳高校美術部の生徒たちによって、ふれあいパーク八日市場の景観形成のため施設に壁画が描かれました。これに対してふれあいパーク八日市場有限会社の代表取締役を務める太田市長から同部へ感謝状が贈られました。

同部では、ふれあいパークからの要請を受けて、本館正面のイベントホール看板部分に果物や野菜、花などをモチーフにした明るいタッチの絵を制作。同所を訪れる買い物客の目を楽しませています。

感謝状の贈呈式は2月5日に市役所で行われ、同部を代表して出席した2年生の部員3人に太田市長から感謝状が手渡されました。



感謝状が贈られた匝瑳高校美術部員ら



イベントホール看板部分に描かれた壁画

2月5日 善行者を表彰



株式会社富士テクニカルコーポレーション（八日市場イ）から、市の防犯設備充実のためソーラーLED防犯灯6基（182万円相当）の寄贈がありました。これに対して同社を善行者として表彰し、2月5日に、太田市長から小川毅一郎代表取締役へ表彰状と記念品が贈られました。=写真 防犯灯は、保育所や公園など6か所に設置されました。

2月16日 平和で「防災」テーマに講演



平和地区コミュニティセンターで2月16日、同地区の地域福祉フォーラムが開かれ、「『被災現場の姿』と『地域でできること』」をテーマに講演が行われました。講師の公益社団法人SLボランティアネットワーク・坂内美佐子さんが、被災地を訪れた経験をもとにして「自助」の重要性を唱えると、出席者は真剣に耳を傾けていました。=写真

2月17日 亀崎・如意輪参り



女性だけの祭り「如意輪参り」が2月17日、亀崎で行われました。如意輪観音の子安信仰に基づく安産祈願の行事で、地域の男性たちが笛や太鼓で囃し立てると、着物姿の女性たちがピンクの色紙で飾られた大きな万燈を先頭にして、子安神社を3度回って踊りを奉納しました。=写真

竹の子オーケストラが金賞に 県管弦楽コンペティション



金賞に輝いた竹の子オーケストラの児童たち

八日市場小学校の音楽部「竹の子オーケストラ」が、1月12日に千葉市で行われた千葉県管弦楽コンペティションに出場し、小学校の部で金賞に輝きました。

大会では、同オーケストラのメンバーからバイオリン、ビオラ、チェロ、コントラバスを担当する10人で編成した弦楽十重奏で、『ルーマニア民族舞曲』を演奏。昨年、同大会に出場したときは銀賞だったことから、今回はそれを上回る金賞を目指して挑み、目標を達成しました。メンバーの児童は「すごく集中して演奏ができた。金賞という結果に涙が出ました」と喜びを表しました。

若者の地域雇用に向けて 高校生と企業の意見交換会

高校生と海匝地域の企業との意見交換会が1月22日、県立東部図書館で行われました。

若者の地元就職を進めるとともに、企業側では高校生の就職への希望やニーズを把握することを目的としたもので、敬愛大学八日市場高校と県立東総工業高校の2年生11人と、企業側では匝瑳市内からの4社を含むサービス業や製造業の10社が参加しました。企業側から「就職する際に重視すること」について質問が出されると、高校生からは「働き方を大切にしたいです」「給料も大事ですが自分の能力が活かせるかどうかだと思います」といった意見がありました。



意見交換を行った高校生（写真右）と企業の担当者ら